

特殊なカットで奇跡をもたらすアルカダイヤモンド

88面体のダイヤモンド 「アルカアース」が誕生!

持つ人のエネルギーと調和し、心と身体を癒してくれるアルカダイヤモンド。
この秋、新たに、地球の女神88「アルカアース」が誕生しました。
地球規模の変革期を迎えている私たちが、不安に動揺することなく、
しっかりと自分の足で立って、幸せな人生を歩むために必要なエネルギーを備えています。
アルカダイヤモンドの強力なサポーターである田山さん、未来さんご夫妻をゲストにお迎えし、
斬新なカットの誕生秘話やアルカダイヤモンドとの出会いを語っていただきました。



「追」 研磨する職人が89面は作られても、そこから1面を落とすのにごく苦労していて、完成するまでかなり時間がかかりました。それまでの既成概念を外して研磨の方法を根本的に見直し、ようやく完成したんです。そして、ネーミングを田山さんに相談しました。

「追」 完成したばかりのダイヤモンド2個の内の1個が、未来さんにピッタリ50になって、スタップ一同ピツクリ。それまでは、まだ誰もムーンに合う人は現れていなかったからね。

「追」 今、地球の現状を見ると、自分たちが作り出したシステムによって格差が生まれ、大変な状況に追い込まれてしまった。ここを乗り越えるには、私たちがもう一度原点に戻り、自然と向き合い、本来のあり方を見つめ直すべきでしょう。今このタイミングで世に誕生したということは、地球がアースが求めているんじゃないかと

地球と調和する生き方に導くダイヤモンド。



さこみれい 迫美侖
関西宝飾株式会社常務取締役。迫社長との奥様。お客様の身体の状態を測定しながら、その方に相性ぴったりのアルカダイヤモンド選びをサポートする、ダイヤモンドセラピストとして活躍。

イアモンド「アルカアース」は、そもそも持つ人を選ばない多面体のダイヤモンドを新たに作るうとしたのが始まりなんです。アルカシリーズは、サンとムーンで十分だと思っていたけど、まず未来さんに相談してみたら……。

「追」 肉体を癒すのがサンで、精神を癒すのがムーンなら、アルカアースはそれらを統合したダイヤモンド。肉体と精神のバランスがとれた人が、次のステージに上がるためのエネルギーを持つのがアースだと思

「追」 輝きというキーワードは男性にとっても大事ですよ。自分が輝いて、さらに人を輝かせるために何ができるか。個人のスピリチュアリティを引き出し、共鳴するものが、生きることに繋がるものが必要なんだと思う。

「追」 時代や人によって変化し、進化し続けていくんだろうね。お客様によって、私たちが教えられることが多いのは事実。人々の本質的なところを一緒に見つけていき、陰陽のエネルギーを統合していくプロセスをサポートするのがこれからの役目ということですね。

「追」 お二人との出会いによって誕生したアルカアースがこれからのどんな方々との出会いに導かれるか楽しみです。



迫社長と共にアルカダイヤモンドを生み出した田山翔一さんと未来見基さん(写真右)。

たやましよう 田山翔一
豊かな感性で舞台、イベント、ショーなどを手がける演出家。コピーライターとしても活躍。現在は、ミュージカルや芝居、音楽制作に力を注いでいる。「親と子の音楽レストラン」コンサートや、津軽三味線・二胡・バイオリンなど弦楽器の演奏を中心としたコンサートを開催している。

みきみき 未来見基
魂との対話士。妊娠中に胎児と対話し、胎話出産、対話育児を行った経験を活かし、胎児や魂との対話セッションを行う。4人の子どもの母。「胎教博」の開催や親子のハートフルミュージカルを通じて魂の教育を実践。スピリチュアルカウンセリング活動、ヒーリングコンサートなどを精力的に行っている。

ダイヤモンドが導く 過去の縁と今生の役割

「美侖」 未来さんは「アルカムーン」に同調した最初のお客様でした。未来 ダイヤが欲しいという思いはなかったのに、福山のアルカさんのお店でセッションのお仕事をさせていた後、急に「ダイヤモンドを持つなら今だ」という思いが湧いてきて、迫社長と話してた時に美侖さんが現れたんです。

「美侖」 田山さんがアルカサンに出会われたのは、ちょうど未来さんと結婚されるタイミングでしたね。未来 私がアルカダイヤモンドの素晴らしさを実感していて、ぜひ彼にも持つてほしいと思ったの。彼はその頃、体調を崩していて、肉体のエネルギーを整えるアルカサンが必要でした。アルカサンの指輪を身につけてからは、体調が安定したんです。

「美侖」 なぜダイヤモンドがこれほど希少価値があるのか。装飾品だけでなく、もともと人間にとって大切なものなんじゃないか。そういうダイヤモンドの本質が感じられなかったら、真の価値が見えてきませんでした。



さこよういちろう 迫恭一郎
関西宝飾株式会社代表取締役。日本の宝飾業界に行き詰まりを感じ、自社研磨によるアルカダイヤモンドを創り、世に出す。

Column

アルカシリーズ3つの輝き

アルカサン

身につける人が外に輝きを放つような、強い輝き特徴。父のように強く大きい、陽のエネルギー。



アルカムーン

身につける人の本質を輝かせるような、静かな輝き特徴。母のように温かく包み込む、陰のエネルギー。



アルカアース

肉体面・精神面でバランスの取れている人のエネルギーを、さらにパワーアップさせる輝き特徴。陰陽統合のエネルギー。



「追」 肉体を癒すのがサンで、精神を癒すのがムーンなら、アルカアースはそれらを統合したダイヤモンド。肉体と精神のバランスがとれた人が、次のステージに上がるためのエネルギーを持つのがアースだと思

「追」 輝きというキーワードは男性にとっても大事ですよ。自分が輝いて、さらに人を輝かせるために何ができるか。個人のスピリチュアリティを引き出し、共鳴するものが、生きることに繋がるものが必要なんだと思う。

「追」 時代や人によって変化し、進化し続けていくんだろうね。お客様によって、私たちが教えられることが多いのは事実。人々の本質的なところを一緒に見つけていき、陰陽のエネルギーを統合していくプロセスをサポートするのがこれからの役目ということですね。